



It's Time for Money.
COLUMN

●不動産・住宅ローン・保険・資産運用・相続など、
ライフプランに不可欠なお金の話をFP(ファイナ
ンシャルプランナー)の方々に教えていただきます。

株式会社 ムーラン

パートナー

ファイナンシャル・プランナー (CFP®)

2級DCプランナー (企業年金総合プランナー)

栗原 良明 Yoshiaki Awahara

<プロフィール>

1979年、青森市生まれ。

青森県立青森高校、日本大学経済学部経済学科卒。

株式会社大塚商会にて勤務後、CFP®資格を取得。

各企業・団体・専門学校にてマネーセミナー、FP講座、就労支援のセミナー講
師として活動。ライフプラン、生命保険、資産形成など、お客様目線での相談
業務も手掛ける。

FPエデュケーションズ青森、代表。



第38回 「ビットコインを はじめとする仮想通貨」

テレビやニュース等でビットコインや仮想通貨という言葉聞く機会が多くなってきていると思います。

ビットコインは、「サトシ・ナカモト」という人物が2008年に発表した論文を元に作成された仮想通貨、もしくは暗号通貨と呼ばれるものです。現金のように目に見えるものではなく、インターネットを通じて送金などのやり取りが行われます。ビックカメラやHISなど、日本国内でもビットコインで支払いができるお店が少しずつ増えてきました。

このビットコインはブロックチェーンの技術を使い、取引の内容が改ざんされない工夫がされています。ブロックチェーンとは、取引内容などのデータをひとつのブロック(取引の束)として、1つの鎖のようにつなげて記録していく仕組みのことです。取引データには送金額や送金人などの情報が含まれていて、ビットコインでは10分に1個のブロックが作成されて、次の取引につながっていきます。

ビットコインをはじめとする仮想通貨は現在、約1,000種類以上あります。仮想通貨といえば、世界での取引量と時価総額が一番であるビットコインが一番有名ですが、それ以外の仮想通貨のことをアルトコインと呼び、イーサリアム、リップル、リスク、ネム、そしてビットコインやイーサリアムから分裂(ハードフォークした)ビットコインキャッシュ、イーサリアムクラシックなどがあります。それぞれ特徴のあるコインになっていますが、ビットコインの問題点(送金スピードなど)を解決したものになっている場合が多いです。例えばリップル(XRP)は、国際送金をする際に何個も銀行を経由することによって時間がかかることや送金手数料が高いという問題を、リップルの仮想通貨XRPをハブ通貨として使用することにより、安くて速

い国際送金を目指すなど、いろいろな利用がこれから見込まれています。ビットコインが未だに王道と呼ばれているのは、他のコインを買う際に、1度ビットコインにしたものを他の通貨と交換する機会が多いからであり、仮想通貨の中の基軸通貨と言われる所以です。時価総額が高く利用が見込まれている通貨であれば良いのですが、1,000種類もあるコインの中には、実質的に意味をなさないものもあり、草コインなどと呼ばれるものもあります。草コインは何かのきっかけで暴騰する可能性もありますが、購入には注意が必要です。仮想通貨は政府や中央銀行などを持たない通貨で、価値の交換手段として利用されるのが一番ではありますが、現在は投機目的で資産の一部として購入している人が大部分かもしれません。

どのように仮想通貨を購入するのですが、まずは取引所に口座を開きます。ビットフライヤー、ザイフ、ビットバンクのような国内の取引所もあれば、バイナンスやポロニエックスなど取引できるコインの数が多く海外の取引所を利用している方も多いです。初めてであれば、日本語対応しているかどうかも大きなポイントになると思いますので、まずは日本の取引所で試してみるの良いかもかもしれません。口座を開き、指定された銀行口座へ振り込み(入金)することで取引が可能になるわけですが、口座開設後にはセキュリティを強化するために二段階認証をしておくをおすすめします。コインを売買するには、「販売所」で行う方法と、「取引所」で行う方法があります。販売所では、その販売所が保有しているコインを欲しい時に買ったり、売りたい時に売ったりすることができ、数パーセントの手数料が上乗せされた金額にて購入することになりますので、少し高い金額で買うイメージになります。取引所では、株の取引などと同じように成り行き注文、指値注文をすることができ、買いたい人と売りたい人の意思決定によって売買が成立するようになっていて、手数料はかなり安く済みます。ビットコインですと3月5日現在、1BTC=約120万円ですが、最低取引単位は0.00000001BTCなので、数百円からビットコインを購入することもできます。

2017年のはじめから2017年末までは仮想通貨の価格が一気に何倍にもなりました。

しかし、年が明けて2018年1月はじめから今まで上がっていたものが逆回転をはじめ

め、リーマンショック以上とも呼ばれる急落になりました。仮想通貨を持つのは全資産の10%に抑えておきなさいという専門家の意見もあります。私自身の経験からも、株や投資信託の値上がりは数%から数十%の値上がり値下がりというのはありますが、数ヶ月で数倍になるというのは驚きでした。バブル時代を経験していない私からすると、「バブルってこういうことなのだ!」というような値上がりする時の興奮と、急落する時の精神状態を経験したことは、講師としてお話をされる際など、これからのファイナンシャル・プランナーとしての活動のためにも良かったと感じています。自分の資産内容と照らし合わせて、仮想通貨も資産配分に組み入れるのであれば、多すぎず、適切な配分にするべきかと思えます。

中央政府が独自の仮想通貨を発行する(ベネズエラでは自国で産出される原油を後ろ盾にペトロという通貨を発行してお金を集める)など、仮想通貨が今後、どのようになっていくかはわからない部分もありますが、仮想通貨を形作っているブロックチェーンの技術は大きな革新をもたらす可能性があります。仮想通貨はもちろん、決済や送金など金融分野、土地の登記・資産管理・商業管理・医療情報などの非金融分野での応用が期待されています。30年前、パソコンがなかった時代、インターネットがなかった時代、携帯電話がない時代でした。パソコンが普及し、インターネットが身近なものになり、スマートフォンをひとり1台持つようになっていきました。中国などではQRコードを使って支払いをするようになっていきましたし、日本も「支払いはデータで!」というように少しずつ現金を使わない生活に変わっていくかもしれませんね。



FP(ファイナンシャルプランナーとは)?

あなたや家族の夢や希望をかなえるための人生設計=ライフプランについて、金融、税制、不動産、保険、年金制度などの知識を備え、あなたの立場で考えアドバイスや資産設計を行い、併せて実行を援助する専門家です。

(公社)青森県地建物取引業協会会員 青森県知事免許(2)第3284号



〒030-0821 青森市勝田1-5-12 (みちのく銀行本店北側)

■営業時間/AM9:00~PM6:00※火曜日はPM2:00まで ■休業日/水曜日・祝日

■TEL : 017-718-2741 ■FAX : 017-718-2742

■URL <http://www.moulin-fp.co.jp> ■E-mail moulin@basil.ocn.ne.jp

不動産の売買、賃貸、管理
ご相談下さい。
相続対策や有効活用法の提案など
総合的にサポートします。

